

■ プロジェクト学習の活動とコーチング

フェーズ名	知的活動	身につく力	key コーチング
準備 ↓	プロジェクト学習の流れを知る。題材を意識する。 現実から課題を見出す。	□課題発見力 □気づく力 □観察する力 □状況をつかむ力 □現実から問題を見出す力 □社会意識 □俯瞰する力	「いまはどのような？」 「どうだったらいいの？」
ビジョン・ゴール ↓	プロジェクト全体とチームの目的と目標を決める。 課題を「具体的な目標」に変える。	□目標を設定する力 □ビジョンを描く力 □現実主體的にかかわる力 □やりとげる意志 □前向きな姿勢	「何のために？」 「そのために具体的に何を目標にしますか？」
計画 ↓	ゴール達成への戦略を考える。 限られた時間ですべき優先順位を考え出す。	□戦略的に計画する力 □すべきことをイメージする力 □優先順位を決める力 □時間を的確に配分する力	「使える時間はどれくらいあるの？」 「そのためにすべきことは？」 「もっとも優先すべきことは？」
情報・解決策 ↓	情報を獲得し課題解決策を生み出す。	□情報を見極める力 □根拠ある情報を獲得する力 □分析・比較する力 □発想力 □事態への対応力 □分類する力 □多面的なものを見る力 □創造力 □礼儀・礼節	「その情報はどこにあるの？」 「あなたが使える手段は何？」 「あなたとちがう情報を集めよう」 「正しい情報って何？」
制作 ↓	プレゼンテーションの制作をする。 わかりやすい表現、瞬間的に伝えられる表現を工夫できる。	□わかりやすく表現する力 □情報を取捨選択する力 □図、表、グラフを適切に使う力 □概念図等を使い端的に簡潔に表現する力	「一番伝えたいことは何？」 「それを見て傷つく人はいませんか？」
プレゼンテーション ↓	チームの提案をプレゼンテーションする。 他者のプレゼンから自らの改善点を学ぶ。	□コミュニケーション力 □ノンバーバルな表現をする力 □比喩等でわかりやすく表現する力 □根拠をもとに説明する力 □聞き手の思いや理解を推察して話す力 □他者のプレゼンを評価する力 □他者のプレゼンから学びとる力	「誰のためにプレゼンするの？」 「もっとも効果的に伝わる表現の工夫は？」
再構築 ↓	元ポートフォリオを凝縮し論理的に表現する。 他者への凝縮ポートフォリオから自らの改善点を得る。	□論理的に表現する力 □根拠に基づいて結論を導く力 □適切に項目立てし、見出しを立てる力 □的確で簡潔な文章を書く力 □試行錯誤しつつよりよいものを生み出そうとする姿勢	「そのエビデンスは？」 「一番わかりやすい表現は？」
成長確認	元ポートフォリオを時系列で俯瞰し、自分の成長や身についた力、考え方の変化などを確認する。	□成長や成果を評価する力 □自己有能感 □自己有用感 □自尊感情 □より成長しようとする意欲	「成長って何？」 「この経験で得たことは何？」

出典：鈴木敏恵『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手法』教育出版